発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

	REC'D 2 1 APR 2005					
出願人代理人						
千住金属工業株式会社	WIPO PCT					
. 梯						
あて名	PCT					
	国際調査機関の見解書					
〒 120−8555	(法施行規則第40条の2)					
東京都足立区千住橋戸町23番地	[PCT規則43の2.1]					
	^{発送日} 19. 4. 2005					
	(日.月.年)					
	今後の手続きについては、下記2を参照すること。					
山嶼人又は10年人	子後の子別とにうでいる。					
の書類記号 P-2004PCT-12						
国際出願日	優先日					
PCT/JP2004/019498 (日.月.年) 27.12.200	4 (日.月.年) 07.01.2004					
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B23K1/008						
出願人(氏名又は名称)						
一日限人 (CA 文は 4 が)						
正显为工术外人之上						
1. この見解書は次の内容を含む。						
※ 第Ⅰ欄 見解の基礎						
第11個 優先権	世についての見解の不作成					
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能	性につびてものがないでは					
第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如	- いい 、** たいカン・辛業 トの利用可能性についての見解。					
※ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する。	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、					
それを裏付けるための文献及び説明						
□ 第VI棡 ある種の引用文献						
第VII 棚 国際出願の不備						
第四個 国際出願に対する意見						
	į					
2. 今後の手続き	査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 国際調本機関の目解患を国際予備審査機関の見解帯とみなさ					
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人かこの国际研究	国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ 国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ 解集は国際予備密本機関の最初の見解書とみなされる。					
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見	解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。					
ない旨を国際事務同に通知していた場合を続いて、これた						
この目解患が上記のように国際予備審査機関の見解書とみ	なされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 地限が終過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当					
トゥゥロルがたりからりり目のうちいずれが迷く傾うする効果が一定心する。 こうしゅう						
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる	0					
•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照す	200					
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参	照すること。					
3. さらなる詳細は、依以下で171517						
見解書を作成した日	•					
01. 04. 2005						
	特許庁審査官 (権限のある職員) 3P 3117					
名称及びあて先	小野田 達志					
日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915						
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3364					
. >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>						

I閥 見解の基礎						
.この見解書は、「	下記に示す場合を	除くほか、国際出願の	言語を基礎として作	作成された。		·
			・を基礎として作成し	した。	ర .	
2. この国際出願で 以下に基づき見り	開示されかつ請求 解售を作成した。	の範囲に係る発明に不	「可欠なヌクレオチ	ド又はアミノ酸配	列に関して、	
a. タイプ	配列表					
	配列表 配列表	、 に関連するテーブル				
b. フォーマット	・ 🔲 - 魯面	•				
	□ コンピ	ュータ読み取り可能な	形式			
c. 提出時期	L	の国際出願に含まれる				
	□ この国	際出願と共にコンピュ	ータ読み取り可能	な形式により提出	された	
3. 🗌 さらに、翫	<u> </u>	に関連するテーブルを に関連するテーブルを ロカレ同一である旨		4 簡終に想出した質	記列若しくは追 含まない旨の陳	加して提出し 述書の提出が
3. さらに、簡 た配列が出 あった。 4. 補足意見:	<u> </u>			4 簡終に想出した質	記列若しくは追 含まない旨の陳	加して提出し 述書の提出が
た配列が出	<u> </u>			4 簡終に想出した質	記列若しくは追 含まない旨の陳	加して提出し 述書の提出が
た配列が出	<u> </u>			4 簡終に想出した質	記列若しくは追 含まない旨の陳 ・	加して提出し 述書の提出が
た配列が出	<u> </u>	に関連するテープルを 配列と同一である旨、		4 簡終に想出した質	卍列若しくは追 含まない旨の陳	加して提出し 述書の提出が
た配列が出	一 記列表又は配列表に 出願時に提出した		提出した場合に、出 又は、出願時の開え	出願後に提出した 所を超える事項を含		加して提出し 述書の提出が
た配列が出 あった。 4. 補足意見:	一 記列表又は配列表に 出願時に提出した	に関連するテープルを 配列と同一である旨、	提出した場合に、出 又は、出願時の開え	4 簡終に想出した質		加して提出し 述書の提出が
た配列が出 あった。 4. 補足意見:	☑ 日願時に提出した 日	に関連するテープルを 配列と同一である旨、	提出した場合に、出又は、出願時の開え	出願後に提出した酸		加して提出し 述書の提出が
た配列が出 あった。 4. 補足意見:	☑ 日願時に提出した 日	に関連するテープルを 配列と同一である旨、	提出した場合に、出又は、出願時の開え	出願後に提出した香味を超える事項を含		加して提出が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/019498

5V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明					
1. 見解			•		
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1	· 		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1			
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1			
2. 文献及び説明					

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載さ れておらず、当業者にとって自明なものでもない。